

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、\_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		乗用車販売店（統括）	単価の動き	・商品力のある車が出たことで、1台あたり単価が改善され、商業車の落ち込みをカバーしても余りあるものになっている。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・例年ディナータイムの売上が最も落ちる時期だが、来客数は例年を上回っている。 ・客単価も例年より上昇し、3か月前と比較しても上昇している。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・人の動き、販売量、平均単価等は若干下がっているものの、それを来客数でカバーできている。
		旅行代理店（団体営業担当）	来客数の動き	・SARSが収まり、徐々に客の足が戻ってきている。
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・イベントや見どころをアピールすれば、それなりの反応があり、例年より来園者が増加している。
		住宅販売会社（経理担当）	来客数の動き	・新規発売物件のモデルルームオープン時に、予想を大幅に超える来場者があり、久しぶりに多忙になっている。
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・最近駐車場が満車になることがほとんどなく、商店街としての来客数が減っている。 ・客は慎重に買物をして、財布のひもが固い。
		百貨店（統括）	単価の動き	・子供服の単価の動きに伸びが出てきているものの、来客数、販売量には増加がみられない。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・月末に実施したクリアランス特招会も、昨年比ベ来客数が少ないうえに、相変わらず一点買いが多く客単価も低い。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・上得意を招き催事を開催したが、単品での購買が目立ち、客単価が低下している。特に装飾品等の高額品は不振に終わっている。 ・店頭でもミセスを中心に客単価の低下が目立ってきている。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・ブランド物に関して、若い客層向けの商品の売行きは例年を上回っているが、ミセス向けの商品は若干苦戦気味となっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・広告商品の目玉品やタイムサービス等に集中した買物が目立つ。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客はより安い物を求めて店の使い分けを行っている。 ・余分な物は購入しないが、高い商品でも品質が値段相応であれば、購入する傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の動きに依然改善の兆しがなく、3か月前と比べて変化がみられない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は以前の数に戻りつつあるが、客単価は相変わらず悪い状況にあり、客の買い控えがある。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・チラシやダイレクトメールに掲載している低価格商品への要望が多く、父の日セールでもカジュアル商品を半額にすれば購入が増えている。 ・プライダル関連では高額な商品も動いている。
		衣料品専門店（販売促進担当）	販売量の動き	・来客数はそれほど伸びていないが、売上は少し伸びており、客単価も上昇している。 ・安い物を購入する客と、質で選ぶ客との違いがはっきりしている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・月ごとに例年水準の販売量の維持が困難になってきている。 ・故障しないと購入への踏ん切りがつかないユーザーが多くなっている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・例年ならエアコン等の季節商品が売れる時期であるが、今年は非常苦戦している。
		家電量販店（副店長）	単価の動き	・例年に比べて客単価は低下し、来客数も減少している。 ・特にAV商品やエアコンなどの季節商品が大きく例年割れの状態である。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・相変わらず軽や1300ccなどのコンパクトな車は活発に動いているが、中型以上のものは非常に苦戦している状況が続いている。		

	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年ないし7年で買い換えていた客のほとんどが、車検を受けるようになり、買い換えることがなくなっている。</li> <li>・車検を受ける場合でも、なるべく安く上げて、なるべく金を使わないようにしようとする状況が続いている。</li> </ul>
	乗用車販売店 (営業担当)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナス時期を迎えたことと新型車が発表されたことで、来客数は増えているものの、依然として客の購入に対する意識は前向きになっていない。</li> </ul>
	自動車備品販売店 (経営者)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依然として来客数が低迷している。</li> <li>・カーナビゲーションやETCの販売が上向いてきているので、販売金額では来客数の減少分をカバーしている。</li> </ul>
	住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来客数には変化がないが、新しい客がかなり少なくなってきた。</li> </ul>
	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末は個人客でまずまずの来客数であるが、平日は夜を中心に企業関係の利用が少ない状況である。</li> </ul>
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアホールへの個人客の予約が例年より少ない。</li> </ul>
	タクシー運転手	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜の繁華街で少ない客の取り合いが続いている。</li> <li>・客もタクシーを選ぶようになってきている。</li> </ul>
	タクシー運転手	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年に入り利用者が毎月減少しており、現在もこの傾向が続いている。</li> </ul>
	通信会社(経営者)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入契約数がここ数か月の実績から低下したままであり、その状態のまま推移して、増加の兆しがみえない。</li> </ul>
	レジャー施設 (営業企画担当)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰り温泉部門の来客数は、先月同様2桁ダウンの前年割れを避けられそうにない。しかし飲食部門の利用客数は100%を確保し、全体的な寄食率は向上している。</li> <li>・温泉ホテル部門も企画実施から2か月目に入り、予定通りの前年の120%を達成できると見込んでいる。</li> </ul>
	設計事務所(職員)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依然として個人住宅の新築、改装およびアパート、マンションの建築が多い。</li> </ul>
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を通行する客がめっきり減っている。</li> <li>・これまで駅と大型店を結ぶ通路として商店街が利用されていたが、行政が市内循環型のお買物バスの運行を開始後、最寄り駅からの通行者が、商店街を通り越して大型店に直接流れる傾向がある。</li> </ul>
	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中元商戦への客の出足が非常に鈍くなっている。</li> </ul>
	スーパー(店長)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前と比べて競合店もチラシで目玉商品を多数出してきている。</li> <li>・来客数は目玉商品の売日以外にはぐっと減り、非常に厳しい状態が続いている。</li> </ul>
	スーパー(店長)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SARSの影響、たばこの増税、将来的な年金への心配などで、毎日食べる食料品といえども、客は非常に厳しい予算の中で工夫して買物をしている。</li> <li>・買上点数、客単価も上昇せず、客は無駄な買物を一切しない購買行動になっている。</li> </ul>
	スーパー(店員)	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに新しい競合店がオープンし、大変厳しくなっている。</li> <li>・来客数は少なくなっているが、特売の目玉商品だけを買っている客が多いため、その販売数量だけはさほど変わっていない。</li> </ul>
	コンビニ(エリア担当)	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発泡酒の値上げの影響で、ビール、発泡酒とも売上が低迷している。</li> <li>・今までコンビニで買っていた客も、ディスカウント店に流れており、ビール、発泡酒は非常に苦戦している。</li> </ul>
	家電量販店(予算担当)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節商品、特にエアコンが天候のせいで例年ほど売れていないため苦戦している。</li> </ul>
	乗用車販売店(サービス工場担当)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車検の1台当たりの単価が低下している。</li> </ul>
	一般レストラン(店長)	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜、日曜は客の動きがあるが、平日はまるっきりない。</li> </ul>

		一般レストラン（営業担当）	来客数の動き	・既存店の来客数に2ケタの落ち込みがあり、郊外店舗、都心店舗ともに厳しい状況である。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（エリア担当）	来客数の動き	・様々な販促活動を行っているにもかかわらず、例年よりも来客数が減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前は景気が悪いのは悪いなりに、客から不満の声は聞かれなかったが、最近はそのような声を耳にするようになってきている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数がかなり減少してきており、それと同時に客単価もかなり低下してきている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅に関しては、住宅ローン減税の特別措置が今年までであり、今契約着工しないと年内の完成とならないことが顧客の動きに少し現れ、契約着工戸数が増加している。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・官公庁のボーナスが支給され、商店街の人通りは増えているが、相変わらず手ぶらの客が多い。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・主力取引先である問屋の買収や倒産が相次いでおり、商品の調達が非常に難しくなったため、売上も低下している。
		住関連専門店（広告企画担当）	お客様の様子	・客は単価が安い物でも購入に慎重になっている。店を何軒も回ったり、値段に納得はしても購入に踏み切れないという慎重な状況である。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・現在SARSによって旅行者が非常に減少しているが、今後の行方は非常に不透明であり、客もまだ旅行する気持ちになっていない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・農繁期に入るためタクシーの利用が低下している。 ・雨も少ないため人の動きが大変悪く、夜は最悪の状態である。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（統括担当）	受注量や販売量の動き	・売れそうだと思う新しい企画の商品に対して、客が前向きな姿勢を示している。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・需要は下降気味であるが、新商品の影響により前年を上回る受注量になっている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大幅な増産の要請があり、土曜日の夜勤はもちろん、間接要員の応援による日曜日の生産で対応する部門が出てきている。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・取引先の多くが受注好調のなか、フル操業を継続中である。コストダウン効果も加わり増益基調である。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・全般的に生産稼働率はそこそこであり大きな落ち込みはなく、無機、有機製品ともに若干需要増の傾向であるが、安値のため利益率が悪い状況である。
		窯業・土石製品製造業（総経理担当）	受注量や販売量の動き	・3月以降第1四半期を通じて、納期の集中するものが多く、生産量は高水準である。
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売量は底を脱した感があり、ここ最近大きな増減はないが、まだ十分な量には回復していない。 ・販売価格は下がる一方であり、特に電池材料に関しては、最終製品の電池の価格が低過ぎて、価格改善は相当難しい。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量が減少したままでなかなか回復せず、その影響で価格の低下がひどく、利益が確保できない。
		建設業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前より受注は少ないものの、例年と比べるとわずかに増加している。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・各企業とも輸送コスト削減を行うため、当社にアウトソーシングする話が出ている。
		通信業（社員）	受注量や販売量の動き	・昨年度からの受注分は若干あるが、新規の大規模受注がまだない。 ・商談も少なく競争も激化しており、割が合わない仕事も受注せざるを得ない。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ブロードバンド化の動きが落ち着き始め、法人向け情報通信サービスのメニューも当面出そろったことから、今後はサービスエリアやメンテナンスなど、オプション的な要素によって受注が左右される傾向にある。

	金融業（営業担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月決算の結果をみていると、底の状況は変わっていないが、好調なところと悪いところの差が一段とはっきりとしてきている。</li> <li>・悪いところは人件費や役員報酬まで、削れるところはすべて削っているが、受注価格の引き下げによって営業赤字になっているところも多い。</li> </ul>
	コピーサービス業（管理担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注量に変化がない。</li> </ul>
やや悪くなっている	鉄鋼業（広報担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出品である薄板熱延材が、タイにおいてアンチダンピングのクロ裁定となり、輸出量の減少につながるなど、先行き不透明感がある。</li> </ul>
	建設業（営業担当） 会計事務所（職員）	受注量や販売量の動き 取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間予定受注計画における、月ごとの受注数値が少しずつ低下してきている。</li> <li>・3か月前と比べて大方の関与先の売上高は落ち込んでいる。人件費等の削減や経費の抑制に努めているものの、売上高の低下はいかんともしがたい状態である。</li> </ul>
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風並みのしげが多かったため、5月末の沖合底引船の水揚げ集計は、前年度対比で1割ほど減少している。</li> <li>・需要の多い加工用の魚が取れないため、商品原価が高くなって採算が取れなくなる悪循環になっている。</li> </ul>
雇用関連	良好な状態	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（統括） 民間職業紹介機関（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>求人数の動き</li> <li>求人数の動き</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に新卒を採用したが、もっと採用したいという企業が結構多い。</li> <li>・そのため、中途採用を行ったり、来年の新卒要員を増やしていく動きがみられる。</li> <li>・特に求人ニーズはないが、ベストマッチに近い人材であれば、採用されるケースが増えてきており、それだけ雇う側に余力が出てきている。</li> </ul>
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人広告は2月ごろから新規チラシ媒体の参入で少し上向いていたが、掘り起こし効果も一段落し、やや苦戦の状況が出ている。今後も市場的には好材料がなく、楽観できない。</li> </ul>
	新聞社〔求人広告〕（広告営業担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の求人欄で扱う6月の求人数は3か月前の半分であり最悪である。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数は多少増加しているが、有効求人増加がみられない。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数のうちパート求人の占める割合が増加している。</li> <li>・月間有効求人倍率が低下傾向にあり、月間有効求人数は前年同月比で11か月ぶりに減少となっている。</li> </ul>
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人企業が採用基準を高め設定しており、こちらが採用基準を満たしていると判断して求人企業に紹介しても、企業はなかなか妥協しない。</li> <li>・特に40歳以上の求職者では、特別な何かの技能がある人以外は大変厳しく、失業者の解消は当分望めない。</li> </ul>
	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人そのものの減少には歯止めがかかっているが、従業員数の減少は顕著であり、今後大幅な求人増、あるいは退職者が出る見込みはない。</li> </ul>
やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人情報誌、新聞、ホームページ等に顕在化しない案件が多く、人数合わせの求人は確実に減少してきている。</li> <li>・厳しい条件に合致するまで、時間をかけてでも求人する案件が多く、多種多様なスキルと経験ではなく、希少なスキルや経験を持った人材が落ち着き先を決めることが増えてきている。</li> <li>・採用者の待遇は下がり気味である。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスホテルで大量離職が発生したほか、建設業関係を中心に、事業主都合での離職者が増加しているため、求職者数が増加している。</li> </ul>
悪くなっている	-	-	-